

ふれあい

主な内容

- 第28回一中地区コミュニティまつり 1P
- 第19回一中地区大運動会 2P
- あれやこれや / 私のたのしみ 3P
- 1中コミセンコーナー 3P
- 地域のわだい 3P
- 心に残る思い出 / ボランティア紹介 4P
- 部会だより 4P

●発行所/ひたちなか市長堀町3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) 電話029-275-2671 ●発行責任者/大和田 敬治 ●編集/広報委員会

第28回 1中地区コミュニティまつり



最高の人出 (´ー´)



どれにしようかな・・・



ヨイショ、ヨイショ!!

絶好のまつり日和
 11月16、17日「第28回一中地区コミュニティまつり」が開催されました。2日間とも雲一つない晴天に恵まれ、過去最高の約6500人の来場者がありました。館内には皆さんの多彩な作品が展示され、訪れた人たちの目を楽しませてくれました。館外にはいろいろな模擬店、イベントコーナーが並び、活気あふれる掛け声と笑顔でまつりが盛り上がりました。



バザーの準備OK



とれるかな～



カボチャに何かかいてあるよ!



ソースの匂いがたまらないな～



喫茶コーナー ほっと一息!

みんなみんな よこしで

金上自治会 大内 政江

青空の中、今年も金上名物「やきとり」販売の始まりです。スタッフ一同ピタピタ決まった板前ハットをかぶり、一年一度の出番とは思えない団結力と身のこなしに感心する間もなく、長蛇の列に感謝しつつ、作業を続けました。金上自治会として、おまつりに賑わいと楽しさを添える一端を担うことができたらと参加しています。

人気があるために、大変お待たせしました。おかげさまで今年も完売です。毎度ありがとうございます。とございました。



やきとりコーナー

あったか手作り工作

青少年部会 鵜殿 卓子

青少年部会では、模擬店のほかに手作り工作もやっています。これは材料もすべて無料で、教わって作った作品を持ち帰れるという人気のコーナーです。風船をねじって作った動物・花・剣で遊ぶ子供たち。使い馴れない小刀や鋸で、手指を怪我しながらも親子で作るぶんぶんごまやけん玉。そして、ビニール風。作り上げた顔は、皆満足感でいっぱい！また、ミニツリーは毎年人気があり、今年は中学生が幼児に教える微笑ましい場面も見られ、hotな手作り工作になりました。



手作り工作コーナー

晴天の下、盛り上がった大運動会

10月13日、第19回一中地区秋季大運動会が、長堀小学校グラウンドにて13自治会、約3500人の参加で開催されました。2020年夏季オリンピック・パラリンピックの東京開催も決まり、スポーツへの関心が高まるなか今年の運動会は、昨年の雨とは違い秋晴れの下、各種目に熱戦が展開されました。連覇を目指した駅前南自治会を僅差でかわした三反田自治会の優勝で幕を閉じました。



中根

入場行進 颯爽と！ 整然と！



輪投げリレー
輪投げもオリンピック種目にならないかな～・・・



心を一つに
絶妙!! ナイスコントロール (^_^)



2人仲よく
あわてず 勝ち負けにこだわらず!! (^_^)



綱引き キープ・・・引け～



総合リレー はや～ (ーー)!!



アトラクション 一中吹奏楽部

一中地区大運動会得点表

種目	自治会	東本根団地	中根	大成町	西中根	香織松竹	三反田	大平	金上	富士山	駅前南	薬師台	勝言	笹野
輪投げリレー	5	2	4	2	2	3	3	5	4	5	3	4	2	
三世代びん倒しリレー	2	3	5	5	4	5	3	2	2	4	4	2	3	
二人仲よく	2	3	4	4	4	5	2	3	5	5	2	2	3	
安全運転リレー	5	2	4	5	3	3	2	6	3	4	2	4	/	
心を一つに	4	2	2	5	3	4	5	3	5	4	2	3	2	
ゲートボールリレー	2	3	3	5	4	5	2	3	5	4	2	2	4	
ボールにおまかせ	3	4	5	2	5	4	4	2	3	2	2	3	5	
小学生地区対抗リレー	2	5	3	4	5	5	4	4	2	3	/	2	/	
綱引き	2	4	2	3	5	5	5	4	2	4	2	2	2	
ケツ圧測定	3	2	4	5	3	2	4	5	3	5	2	4	/	
総合リレー	/	4	5	2	4	5	5	4	3	3	2	3	/	
総合得点	30	34	41	42	42	46	39	40	37	43	23	31	21	
順位	11	9	5	3	4	1	7	6	8	2	12	10	13	

地域の大会

長堀・松戸自治会長
桑原 武夫

子どもの頃の町民運動会は、たくさん集まった人の中から、選手選びをしていたようです。母が和服のままで借り物競争に出場した記憶があります。

一中地区運動会に今回初めて参加した地域の人が、「こんなに大規模な運動会で皆さんと一緒に大声援で応援できて気持ちが良かった。知らない人に、もっとPRしたら」と言っていました。

今年の運動会も大盛り上がりでしたが、来年は、鹿島アントラライズサポーターにも負けない応援ができたらと思っています。



私のたのしみ

地域のために生きる

西野幸夫さん

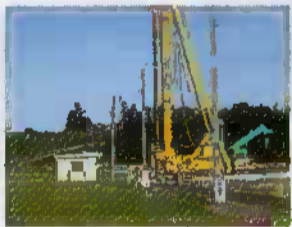
中根にお住まいの西野幸夫さん(74)に、生きがいについてお話を伺いました。西野さんは、民生委員を18年務められ、「青少年健全育成無くして、地域の発展はない」という信念で生きてきたそうです。お仕事の関係もあり、地域を良くするために自分に何が出来るかを考えて、まず中根集落排水事業をすすめたそうです。着工してから10年、東中根集落排水処理施設が完成し、区内でも早い時期に県道勝田・那珂湊線から南側の中根地区の下水道が完備しました。また、中根土地改良区画整理事業に携わり、畑地帯総合整備事業や畑地灌漑も整備することができました。それに伴い、ねぎ坂拡幅工事が終わり、今は中丸川の橋の付け替え工事中で、それが終わると中根小学校西側の県道と三反田地区の県道が広い道路でつながります。

これからは、十五郎穴周辺整備のために意を奮い「高速道路から見える所なので、バスが入れて、子どもたちなどたくさんの方が来て、お弁当が食べられるように整備したい」と、熱く語っていました。

また4年前に、集落センター長を務めていた西野さんに家庭倫理の会長から、中根で「早起き会」を始めたいので協力して欲しいとの依頼があったそうです。倫理の会は生涯学習を推進する民間の社会教育団体だという説明を受け、朝5時から早起き会に参加してみたところ、「学ぶことが多く、早寝早起きで体調も良くなり、自分の信念に合致する」と、真剣に学び始めた西野さん。ますますお元気で、地域のために意欲満々でした。



東中根排水処理施設



ねぎ坂と、中丸川の橋の工事

ベタンクはフランス発祥の球技で、同国ではサッカーに次いで盛んなスポーツであり、世界55か国以上で競技が行われています。親しい仲間同士が金属性の球を投げ転がし合って、木製の目標球(色の付いた小さな球)との近さを競います。作戦で敵の球にぶつけて遠くに弾いたりして、1投毎に局面の変わるスリルがあります。対戦は一人対一人、二人対二人、三人対三人、男女組み合わせは自由。ルールはカリンクと共通点の多い競技です。ベタンクが親

しまれる理由は、子供から高齢者まで男女を問わず対等に競技ができるので世代間交流が図れることです。笹野町では、毎週月曜日朝9時半から笹野第一公園にて1時間半程練習し、その後持ち寄りの茶菓子で歓談を楽しんでいきます。また、輪投げのグループも同所で活動しているので交流を深める事も楽しみにしています。そのほかには、ゲートボールやグラウンドゴルフのチームも活動しており「高齢者スポーツクラブ連合」の運営を盛り上げています。



昭和19年3月10日米軍による東京大空襲の時、私(15才)の姉(19才)は東京の工場に務めていた。B29の空襲で、「防空壕の中、仲間六十余名と共に爆死」と電報が届いた。両親は涙が出ない程の衝撃で体全体が震えていたのを、今でも覚えている。当時私は、日製水戸工場の青年学校に入学していたが、何一つない時代で「欲しがりません勝つまでは」「天皇陛下下の御為に生まれ、天皇陛下下の御為に働き、天皇陛下下の御為に死す」これを教訓として育ってきた。姉の爆死で敵愾心が湧



不思議に奥深いゲーム「ペタンク」

笹野自治会 松沢 勝也

予科練志願の思い出

大平自治会 関 信夫

あれや・これや



き出て「よし、俺が姉の敵を打ってやる」と決意し、航空兵の志願書と退学届を先生に提出した。先生は暫く黙ってじっと私の顔を見つめて、「関、そこに座れ」先生の拳に力が入っていた。「関、目をつぶって良く聞け」先生は静かな声で、「国を思う道は二つはなかりけり。戦の場に立つもたためぬも；君のような優れた者が戦場で死んだら誰が立派な武器を造るんだ。兵一人に百人の要人が必要なのだ。その中心になるのは、お前だぞ」私はハッと気付いた先生の言葉を70年前の事であるが今日のように思い出す。この時の想いを忘れず日常の生活に生かし、捨てられたゴミの1つでも拾い集め綺麗な地域の実現のため奉仕したいと思

1中ミツバウチ

那珂川グラウンド開設記念ふれあいを広める会が管理している那珂川グラウンド多目的広場において、11月10日、日頃グラウンドを利用して



ペットボトルツリーと

11月4日、各部会の役員など約30人の協力を得て、ペットボトルツリーの飾りつけとヒマラヤ杉・ケヤキなどの樹木の剪定作業を行った。



地域のわだい

雨にも負けず、盛り上がった敬老会

西中根自治会

9月5日、西中根会館で自治会主催の敬老会が行われました。当日は、台風18号接近で時折り激しい雨が降る日でしたが、招待者202人中85人の参加がありました。毎年、受付後に敬老者一人一人の写真撮影を行い、会の終了時に記念品として手渡しています。また、敬老祝賀会の後、子供会によるかわいらしい歌や踊り・地域の趣味の会(あじさい会・民謡会・友愛会など)の元気な歌・お色気ある婦人会の踊り・ユーモアある西中根女性セミナーによる寸劇など9団体の演芸が披露され、会が盛り上がりしました。また今年も、交通安全母の会より地域の交通安全を願って、参加者にささやかなプレゼントが配られ、記念品と楽しい思い出をみやげに敬老会となりました。



楽しくをモットーに

駅前南自治会長 尾曲六郎

私たちの自治会は春にはレクリエーション大会を行い、100人以上が参加して輪投げ・グラウンドゴルフを楽しんでいます。高齢者クラブも2つあり、表町のクラブは永年、小学校で昔遊びを教えています。勝田泉町のクラブはお茶会や勉強会などで楽しんでいます。新しく入られた方も多く、これらの催しを通してより多くの皆さんに参加していただき、何をしても楽しくをモットーに活動しています。



大収穫! さつまい掘り

三反田小学校

10月29日、三反田小南側の打越進さん宅の畑で、3年生31人と学校職員4人・地域の西野忍さんご夫婦の協力で、さつまい掘りが行なわれました。30坪ほどの畑に、春に子どもたちが苗を植え打越さんが草取りなどの世話をし収穫を迎えました。3畝が干し芋用の「玉豊」、2畝が赤く甘い「紅まさり」です。子どもたちは土だらけになりながら、次々に大きな芋を掘り出して歓声を上げていました。西野さんは「15年間毎年協力してきたが、こんなに芋が育ったのは初めてだよ」と、大収穫に驚いていました。

掘った芋は、各家庭に持ち帰ったり給食のさつまい汁や焼き芋にして味を楽しみます。11月末には、干し芋作りに挑戦しました。



心に残る思い出

ふるさととは歌の中に

大成町自治会 有山 四郎

「♪頭を雲の上に出し…」孫たちの歌声が響いてくる。思えば私も幼い頃、声張り上げて歌ったものだ。「♪雨、雨、降り降り、母さんが…」「♪運転手は君だ、車掌は僕だ…」

東京日本橋に生まれ育ち、小学校低学年の頃までは毎日が楽しく平穏だった。世相が変わり太平洋戦争が勃発するや、子どもたちの歌も日を重ねるにつれて「♪進め、小国民…」「♪空襲だ、警報だ…」戦意高揚を意図するものに変化していった。やがて戦火を避けるために、友人たちは集団疎開・縁故疎開と別れ別れになってしまい、私の家族も父だけが東京に残り、母の在在である茨城に疎開した。その数日後、三月の東京大空襲で一切が焼土と化してしまった。戦後まもなく父が他界し、帰郷もままならない私たちはそのまま茨城に。

就職の時期を迎え教員採用試験に合格した私は、地元の中学校に赴任する事ができた。「教科書を開く前にまず心を開くことが大事!」と考え、共に歌うことから始まった。「♪我は海の子、白波の…」「♪もずが枯れ木で鳴いている…」中学生との毎日は楽しくすばらしかった。

その後、家族の療養のために苦渋の決断の末、中学校を後に上京した。長期加療を終え再び茨城に戻り、縁あって勝田のこの地に定住。

「子どもたちと触れ合うことが、私の憧れ」と決意し、夏と学童保育教室をスタートさせた。子どもたちの心の居場所を守り続けようと、歌い、語り、遊んでいつしか30年余り。「♪僕らはみんな、生きている…」「♪どんぐりころころ、どんぶりこ…」

今、あの頃あの歌を口ずさみながら、当時の思い出をたぐりよせ、歌の中にふるさとを見つけ、ささやかな幸せを感じている。

「♪この道は、いつか来た道…」



ボランティア紹介

読み聞かせて、心の成長を!

長堀小学校ボランティアグループ「にじの会」

長堀小学校にて、毎週木曜日の朝8時20分から35分までの15分間、在校生や卒業生の保護者で組織されたボランティアグループ「にじの会」が、読み聞かせを行っています。平成12年に発足し、「子どもたちに、もっと本にふれる機会を」という先生方と保護者の願いから活動が始まりました。会の名称は、個々の声と個性は十人十色で、たくさんの良い本を子どもたちに読んで届けたいという、そんな想いを空にかかる虹に託して、「にじの会」と名付けられました。当時は42人で発足し、現在も40人前後の会員を維持しており、1年生から6年生を対象に読み聞かせをしています。

会員は、毎回家にある本や図書館で借りてきた本を持ち寄り、当番のクラスに行き本を読みます。本の内容は、対象学年・季節に応じてや、おもしろい本・友情や命について考えさせるなどテーマ性のある本と、子どもたちの反応を考えながら選んでいます。時には、本に出てくる花や道具を用意したり、登場人物の格好をしたり、紙芝居にしたりと、飽きさせない工夫もしています。

「読み聞かせの時間が大好き、木曜日が待ち遠しい」「ジャンルの違う本を読んでもらえて楽しい」という子どもたちの声に支えられて、今日に至っています。学校側の活動に対する理解や様々な配慮がなければ、こんなに長く続けることはできなかったと、改めて感謝しています。少しでも子どもたちの心の成長のお手伝いができることを信じて、今後も活動を続けていきたいと思っています。



部会だより

文化部会

10月26日、坂本裕功氏の朗読と萩原厚子さんのシンセサイザー演奏による「心のいやしコンサート」が開催された。情感豊かな語り口とシンセサイザーの音色で、会場の約100人は絵本の世界に引きこまれた。朗読の合間には、「ことばの力」の話や歌もあり、さらに全員で合唱で会場が一体となった。



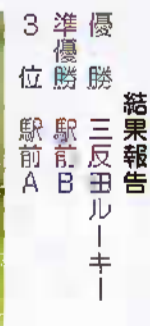
青少年部会

7月27日、長堀小学校体育館にて、時折バケツをひっくり返したような大雨が降るあいにくの天候にもかかわらず、200人が参加して「三世代ふれあい祭り」が行われた。各コーナーの役員たちの指導のもと、水鉄砲・うちわ・折り紙・ぶんぶんごまなどを作成した。親子で熱心に参加する姿や、できた作品を両手にニコニコと笑顔で帰る子どもたちの姿が、ほほえましかった。



体育部会

10月27日、第3回一中地区ヘルスパレーボール大会が、7自治会11チームが参加して開催された。このスポーツは、1チーム4〜6人で対戦し、相手チームに人数を合わせる必要はない。ただし、男性はチーム3人まで。楯田の柔らかなボールを、2〜5回で相手コートに返し点数を競い、子どもから高齢者まで楽しめる。上位3チームは、12月に行われる市の大会に一中地区代表として出場予定。



安全防災部会

9月5日、一中コメンで49人が参加して安全教室が行われた。初めに、市消費生活センター職員による寸劇を交えた「おれおれ詐欺に注意」の講話を聴いた。「悪徳業者の優しい態度や言葉に騙されない」「お金を払う前に、必ず誰かに相談する」を心掛けて生活したい。次に、西警察署生活安全課長から、高齢者の交通事故・振り込め詐欺被害が多いので気をつけるよう、話があった。



環境部会

11月20日、23人が参加して二浦市にある茨城県霞ヶ浦環境科学センターの行政施設見学会を実施した。県の農・水産・観光の大きな資源である霞ヶ浦をきれいにするため、湖水の浄化を目的に各種の改善研究・施策が行われている。元を正せば生活排水処理の問題であり、人と自然の共生をいかにして行くか、大きな課題である。



福祉部会

9月3日、一中地区の各自治会から高齢者75人が参加して、「ふれあいの旅」を実施した。桜川市の「岩瀬城総合娯楽センター」で、笑いあり涙ありの人情ものの芝居と、優雅な舞踊ショーを楽しんだ。この旅を通して、情報交換や親睦を深め合うことができ、リフレッシュできた一ヨリだった。



秋の収穫後記

すがすがしい秋空の下、秋季大運動会・コミュニティまつりが、多くの方の参加により実施されました。これらの行事は「出会い・ふれあい・助け合い」をモットーに、今年も盛大に行われ、地域の人とのかわりや団結を強く感じました。掲載した紙面から運動会での頑張り・コミュニティまつりの賑わいなどを感じ取っていただけは幸いです。

